

## メルハバ！！ービンギョル地震2003・5ーNO1

\*CODEでは、5月3日「ビンギョル地震救援活動」を行うことを決定し、同日マスコミ各紙にもプレス・リリースをしました。

\*この「メルハバ！！ービンギョル地震2003・5」は、現地ビンギョルもしくはデリンジェからの生の情報をもとに、事務局で編集し発信するニュースです。  
また、この救援プロジェクトは「KOB E・デリンジェ・ビンギョル 支えあいの連鎖プロジェクト」という長い名前を付けていますが、関係者の思いは”愛と望みのプロジェクト”です。

現地からの情報およびすでに流されている報道でも伝えられていますが、この地震で倒壊した寄宿舎の下にまだ40名もの子どもたちが救出されずにそのままになっているとのことです。現地で具体的にどのような活動が出来るのか、あるいはデリンジェからどのような活動ができるのか現場に入らなければ判りません。ただ、すでにデリンジェ・愛と望のテントの子どもたちは、ビンギョルの人たちのために「折り鶴」をおってくれているそうです。(デリンジェというのは、マルマラ海地震後の救援活動がきっかけで親交が生まれたイスタンブールから東へ来るまで1時間ほど走ったところです。さらに東へ行くと「イズミト」という市があり、1993年にそこから分離した新しい市です。)

\*5月3日、佐々木康哲と2名のトルコ人(通称シナン、オーちゃん弟)が被災地ビンギョルから車で2時間ほどにある南のDiyarbakirに到着しました。明日の早朝から現地に入り、生の声や映像が大量に送られてくると思います。

\*佐々木康哲は、以前のマルマラ海地震後の救援活動の中心におられた方です。丁度この時期にデリンジェという彼にとっては第2の故郷とも言える意味深い街に、旧交を温めるとともに、亡くなったおつれあいの分身に会いに行くためのあくまでも個人的なトルコ・デリンジェの旅に行っていたのですが、今回のビンギョル地震の報を聞き、早速速報を当事務局に流してくれたのです。

\*そこでCODE事務局は、佐々木康哲とメールあるいは電話で交信をしながら次のようなしくみでの救援活動をはじめるとを提案し、CODEで決定したものです。佐々木康哲とデリンジェに住むビンギョル出身者およびマルマラ海地震の時にできた「愛と望のテント」の子どもたちを中心にデリンジェで生まれようとする「ビンギョル地震救援チーム」(仮称)とそれを全面的にサポートするデリンジェ市有志の活動をサポートするというしくみです。そしてその救援チームの拠点、現地に向かった3人と今回一緒に行きたかったけど行けなかった「愛と望のテント」の子どもたちや市民有志の発想から、おそらく「市民文化教育センター」におかれるだろうと予測します。(間違っていたらゴメン!)

\*佐々木康哲と同行している二人のトルコ人青年は、先のマルマラ海地震の時、「トルコ北西部地震緊急救援委員会」(通称:NGOsKOB E)の通訳を現地で引き受けてくれた

メンバーの内の2人です。彼らは他のメンバーと共に今もデリンジェで活動しています。

\* マルマラ海地震というのは、まだ記憶にあると思いますが、1999年に甚大な被害をもたらした地震です。その時、同じ大地震を経験したこのKOB Eの地をはじめ全国から救援の声が上がりました。その中の一つにこのCODE発足に大きく影響を与えたNGOs KOB Eの活動があります。

\* 今回地震のあったビンギョル市は、デリンジェから1000kmも離れていますが、先のマルマラ海地震のときいち早くデリンジェに駆けつけ、1ヶ月以上にわたって「炊き出し」を提供してくれたところから、ということから、デリンジェ市ではいち早くこの地で有名な「チェニヌ水」を大量に送ることを決定したそうです。実は、この「チェニヌ水」事業は、地震後のデリンジェ市の経済再建事業の一つで、そこから生まれた「チェニヌ水」なのです。→支えあいの連鎖パート1

\* デリンジェの中で生まれた「ビンギョル救援チーム」（仮称）の拠点が置かれるのは「おそらく市民文化教育センターでしょう」といったのは、実はこのセンターは通称「草地文化センター」と言っており、草地賢一というのは阪神・淡路大震災後いち早くKOB Eに再建のためのNGO（地元NGO救援連絡会議）を立ち上げ尽力された方ですが、惜しくも2000年1月2日急逝されました。亡くなる約1ヶ月前にこのデリンジェにも足を運んでおり、デリンジェとは縁の深い方であったことからこうした名前がつけられたものです。この度佐々木康哲をはじめデリンジェの有志が救援に立ち上がったのも実は「草地の遺志」をおのおのが感じ、理解された結果のようです。→支えあいの連鎖パート2

\*\* ビンギョルに関する情報は、「メルハバ！！ービンギョル地震2003・5ーNo2」でお伝えします。